

## 研究グループの大学院生募集案内

項目	内 容
1 研究グループ名 (英文名)	植物遺伝子工学研究グループ (Plant Genetic Engineering Group)
2 教員氏名・所属	平塚 和之 (教授・環境生命学専攻) 尾形 信一 (准教授・環境生命学専攻)
3 研究概要	高付加価値物質の探索・創製、有害物質の検出、それらに関連する生物のストレス応答や遺伝子発現制御の理解を目的とした研究を行います。発光レポーター遺伝子等を用いた、独自の遺伝子発現モニタリング技術により、化合物等の生理活性を検出・評価する実験、変異体の解析等を中心とした研究を進めます。
4 求める人材像	遺伝子組換え植物に興味があり、分子生物学の基本的事項を理解している方。高付加価値物質生産、医薬品創製、食品安全性、新規農業資材、遺伝子組換え植物のリスク管理などに興味があり、それらを対象とした研究に取り組みたいと考えている方。
5 研究環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遺伝子工学、応用分子細胞生物学を実施するための全ての実験機器類を完備しています。複数の化合物ライブラリーも使用可能です。</li> <li>・ 遺伝子組換えに対応した実験温室、P2 実験室等も完備しています。</li> </ul>
6 多様な履修システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般学生のほか、社会人の方も歓迎します。</li> <li>・ 短縮修了：正規には修了に2年間(博士課程前期)もしくは3年間(同後期)かかりますが、それぞれ最短で1年間への短縮が可能です。</li> <li>・ 長期履修：仕事の都合で正規の期間での修了が困難と考えられる場合は、入学時に申請すれば、正規の期間の授業料で4年間(博士課程前期)もしくは6年間(同後期)までの長期履修が認められます。</li> </ul>
7 経済的支援	授業料免除、RA (リサーチ・アシスタント)、TA (ティーチング・アシスタント) の制度が充実しています。
8 募集スケジュール	第1次募集 (2013年10月入学及び2014年4月入学) ・ 出願期間：平成25年6月17日～6月20日 (書留郵便による郵送受付) 詳しい内容は下記の大学 Web ページを参照してください。 <a href="http://www.eis.ynu.ac.jp/applicant/index.html">http://www.eis.ynu.ac.jp/applicant/index.html</a>
9 問い合わせ・連絡先	平塚 和之 (教授) メール： <a href="mailto:hiratsk@ynu.ac.jp">hiratsk@ynu.ac.jp</a> 尾形 信一 (准教授) メール： <a href="mailto:s-ogata@ynu.ac.jp">s-ogata@ynu.ac.jp</a> ウェブサイト： <a href="http://www.plantbiotech.sogo1.ynu.ac.jp/">http://www.plantbiotech.sogo1.ynu.ac.jp/</a>